

# ヘルプ英語学校 ロンロン校のご案内



HELP English Language Program - Longlong Campus (以降、ロンロン校) は、ヘルプ英語学校が保有する二校舎の一つです。ロンロン校は初級者向けの校舎です。年間通して日本人比率が低いため、日頃の生活シーンでも英語を機会が多くあります。スパルタ校として運営を行なっているため、学内の風紀は保たれています。人里離れた自然が溢れる場所に立地するため、都市部へのアクセスは不便ですが、環境の誘惑に弱い人、落ち着いた雰囲気の中で学習に没頭したい人にオススメです。

## 目次

### 1、はじめに

- 1-1. ヘルプ英語学校の概略
- 1-2. ヘルプ英語学校の校風
- 1-3. ロンロン校の位置付け

### 2、ロンロン校

- 2-1. 特徴
- 2-2. 校舎
- 2-3. プログラム概要
- 2-4. レッソンの概要

### 3、学生寮

- 3-1. 概要
- 3-2. 部屋・施設
- 3-3. 食事

### 4、規則

- 4-1. 生活規定
- 4-2. 罰則規定

### 5、補足 (学業関連)

- 5-1. パターン学習
- 5-2. 単語テスト
- 5-3. 模擬試験、公式試験  
(IELTS/TOEFL/TOEIC)

### 6、補足 (生活関連)

- 6-1. 清掃
- 6-2. 洗濯
- 6-3. 街への交通手段
- 6-4. 校内クリニック・病院

### 7、補足 (その他)

- 7-1. 転校
- 7-2. 週末の過ごし方
- 7-3. ロンロン校の講師

## 1-1. ヘルプ英語学校

創立1996年のヘルプ英語学校は、フィリピンにある英語学校の中で最も歴史のある学校です。教育都市として名高いバギオ地域に一校舎（ロンロン校）、首都マニラ近郊のクラーク経済特区内に一校舎（クラーク校）、計二校舎を展開しています。また、ロンロン校にはインターナショナルカレッジ「Concordia College of Benguet」が内在し、同校舎内で「パスウェイプログラム（大学進学プログラム）」の提供も行なっています。クラーク校には、オンライン英語教育センター「IBT Core Ivoline」およびインターナショナルスクール「Gentry International School」が併設されています。ボーディングスクール（学生寮一体型キャンパス）のパイオニアとして始まったヘルプは、語学学校の運営に留まらず、教育の幅広い分野で事業展開をしています。

### ヘルプエデュケーショングループ

#### (1) HELP English Language Program（ヘルプ英語学校）



創立：1996年 所在：バギオ、クラーク（ロンロン校）  
事業：英語学校の運営  
概要：ESL/TOEIC/TOEFL/IELTS対策プログラム 及び 親子留学/ジュニア団体プログラムの提供

#### (2) Concordia International College of Benguet（コンコーディアインターナショナルカレッジ）



創立：2014年 所在：バギオ ※ヘルプ英語学校ロンロン校と同敷地内  
事業：インターナショナルカレッジの運営  
概要：シニアハイスクール運営/パスウェイプログラム（アメリカ/スイス等の教育機関への進学プログラム）

#### (3) Gentry International School（ジェントリー）



創立：2008年 所在：クラーク ※ヘルプ英語学校クラーク校と同敷地内  
事業：インターナショナルスクールの運営  
概要：キンダーガーデンプログラム、グレード1-12に対応したジュニアプログラムの提供

#### (4) IVOLINE（オンライン英会話センター アイボライン）



創立：1999年 所在：クラーク ※ヘルプ英語学校クラーク校と同敷地内  
事業：オンライン英会話サービス  
概要：オンライン英会話プログラムの提供（ESL・IELTS対策プログラム）

フィリピン国内には数多くの学校がありますが、中でもヘルプ英語学校は「厳しい学校」として有名です。事実、学校には多くの校則があり、違反者には罰則を設けています。重大な違反の場合、除籍措置をとることもあります。このような書き方をすると怖いイメージを受ける方もいると思いますが、実際のところ、ルールがしっかりしていない方が怖い面もあります。弊校のキャンパスは治安が良いと言われる地域にありますが、その場所でも危険な行動を伴えばトラブルに遭遇する確率は上がります。（極端な例えですが、日本においても真夜中の繁華街を泥酔した状態で一人歩きたら、非常に危険だということは容易にイメージができます）

※毎年数名の退学者が出ますが、その大半が危険行動に伴うものです。泥酔して人に迷惑をかける、危険な時間帯に無断で出歩く、共同生活上の配慮の欠け、等。過ちは誰にもありますが、基本的に他学生への迷惑行為は看過できません。（やみくもに取り締まりをしているわけではありませんので、この点はご理解ご容赦ください）

※実際のところ、現地の留学生からは「もう少しルールを厳しくしてほしい」という声を多くいただきます。最初は怖く思う方がほとんどですが、当たり前のことなので、実際に生活してみると規則の重要性が理解できます。（特に日本人学生からは、このような意見が多く出ます）

不要なトラブルを排除し、学習に没頭をしていただくためにも多くの行動規範（校則）を設けています。校則の詳細は、項目4「規則」をご参照ください。おそらく、大多数の方が当たり前のように思う項目のみが列挙されています。言われなくても分かる、と感じる方もいると思いますが、海外では誰も気が緩んでしまう場合があります。事実、現地でトラブルに遭う人の大半は当たり前を当たり前でできていない人たちです。煩わしい項目もありますが、あえて校則としてルールを設けることで、学生がより安全に就学できるように努めています。

「厳しい」と言われる学校のため、必然的に「真面目な学生」が多く集まります。（学生は面倒な校則があることを承知で入学しますので、遊び半分の人やキャラついた人は来ません。） もちろん、自由な校風の学校でも多くの真面目な学生がいますが、その比率によって学校のカラーは大きく異なります。学校選びでは、学校のシステムも大切ですが、そこに集まる人も同時に考える必要があります。合う合わないはありますが、学習一色の環境にこだわる方は、ぜひヘルプ英語学校へお越しください。

## 1-2. ヘルプ英語学校の校風

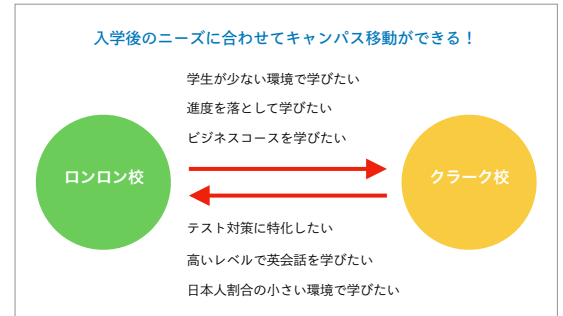
フィリピンに数ある学校の中でも、ヘルプは一二を争う厳しい校風を持った学校です。学校生活および寮生活に多くの規則を設けることで学校内の風紀を保っています。一部の校則違反には「外出禁止」「罰金」の罰則を設けています。悪質な内容に関しては「退学」措置をとる場合もあります。万人受けをする学校ではありませんが、その分自律ある真剣な学生が集まりやすい特徴を持っています。

## 1-3. ロンロン校の位置付け

ヘルプ英語学校が展開する3キャンパスは、以下の異なる特色を持っています。

キャンパス	ロンロン校	クラーク校
地域	バギオ	クラーク
学生の層	中級～上級者が多い	初級～中級者が多い
規模	430名	250名
日本人比率	5-10%	10-20%
入学試験	一部コースであり（※1）	一部コースであり
ポピュラーなコース	ESL・TOEFL・IELTS	ESL・TOEIC・IELTS
入学可能な年齢	満15歳以上（※2）	満15歳以上
ユニークな施設	ジム・カフェテリア（※3）	プール・ゴルフ

### 複数キャンパスの強み



#### ※1

テスト対策コース（TOEIC・TOEFL・IELTS）受講に際して、エントリースコア（足切り）を設けています。初日に実施するプレイメントテスト（模擬試験）にて、一定のスコアをマークする必要があります。コース受講の基準に満たない場合、コースは「ESL-5」に振替られます。（同額コースのため、差額等は発生しません）

#### ※2

満15歳以上の受入が可能です。高校生の場合、一般学生とは異なるケアが必要です。部屋割り等も特別に考慮する必要があります。状況により、受け入れが難しいことがあります。まずは留学エージェントへ受入確認のお問い合わせをお願いします。校舎の受入状況およびサポート体制を考慮して、最適な校舎をご案内させていただきます。（保護者または監督者がいる場合を除き、原則15歳未満の受け入れはできません）

#### ※3

フィリピンでも有数の広大な敷地を持つ学校です。敷地内にはロンロン校とその学生寮だけでなく、「ジュニア専属寮」「ジム施設」「カフェテリア」等があります。また、校内五階には「インターナショナルカレッジ（Concordia International Collage of Benguet）」があります。（ローカルのフィリピン人の大学生も同じ校舎で学んでいます）ロンロン校には多くの様々な学生が在籍しますが、学校自体も非常に大きいため、生活に息苦しさを感じさせません。

ロンロン校にはジュニア学生（高校生以下）も多く在籍しますが、大半のジュニア学生は一般学生と異なる場所で宿泊をします。（専属の外部寮があります）一部のジュニア学生（特に、地元の高校に通う特別なプログラム受講をしている子供たち等）は、一般学生と同じ本校舎に宿泊しますが、同階に混在しないよう部屋割りを工夫しています。（食堂は共有のため、食事時間の時間帯をずらすことによって同じ生活圏にジュニア学生が入らないように管理しています）

日本人学生の国籍比率は低いですが、大きな学校のため、日本人学生数の絶対数が少ないわけではありません。この点ご注意ください。年間を通して通常は20名前後の日本人学生が在籍をしています。（例、200名の10%=400名の5%=20名）

#### （キャンパス間の転校制度について）

- ・転校は、異動先のキャンパスで「四週以上」の滞在期間が残っていることが条件です。
- ・転校は、隔週（二週に一度）の受け入れ日のタイミングで可能です。
- ・留学中に校則違反があった場合、転校先のキャンパスで受入不可になる場合があります

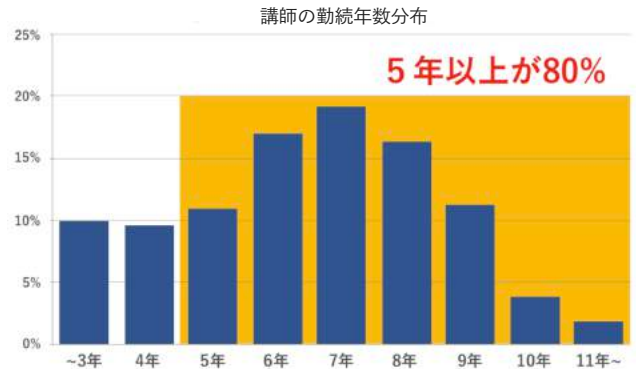
## 2-1. ロンロン校の特徴

バギオ地域の大自然溢れる絶景地にある「ロンロン校」は、中上級者向けのキャンパスとして位置付けがされています。スパルタ式英語教育のため、校則は厳しく保たれ、学習面は細やかな管理がされています。広大な敷地を持つロンロン校の一つの大きな特徴は、学生寮やジム、カフェテリアなどの娯楽施設に加えて、インターナショナルカレッジ(コンコーディア大学)がキャンパスに統合されていることです。ロンロン校は日本人比率が低いいため、日頃の生活シーンでも多くの英語を使うチャンスがあります。また、初中級者向けのキャンパスであるため、英会話コースでは学生の進捗・意欲に合わせて講師が丁寧に解説を行いながら授業が展開されます。

### 教育の質へのアプローチ

ヘルプ英語学校では「常勤講師率」を重視しています。常勤講師が長く働きやすい環境を整えることによって、安定した高水準の教育にアプローチをしています。(夏休み・冬休みといった、学生が多くなる時期でも、同グループ内で講師をやりくりすることで、極力パートタイマーを起用しない方針をとっています。講師の安定供給ができない場合に限り、信用できるエージェントを介して、教育経験が豊富な講師の臨時採用を行っています)

特に、テスト対策コースでは、グループ中でも講師に高い基準を求めています。講師の大半が勤続五年以上のベテランで、中には十年のキャリアを持つ講師も在籍します。尚、講師トレーニングは学生数の落ちる閑散期に集中して行い、ティーチングスキルの向上に努めています。(各種試験対策コースを担当する講師には、通常のトレーニングとは別に、専門のトレーニングおよび勉強会が定期的に行われます)



### 柔軟な受け入れ体制 (あらゆるニーズに対応)

多彩なコース・部屋タイプの組み合わせにより、お客様の予算・希望に合わせたプログラムをお選びいただけます。また、同グループに複数キャンパスがあるため、就学途中の転校により、その時のレベル・ニーズに合わせて環境を変えることができます。各キャンパスの柔軟性と転校制度により、柔軟かつ細やかなニーズに対応可能です。空き時間に授業のボリュームを足したい場合、現地オプションにて「マンツーマン授業」を追加することも可能です。(科目: ESL、価格: 1コマ4週13,000円)

※コース変更は現地でも可能です。プログラム開始の三週間までに申請をする必要があります。

(変更後のプログラムは、最低四週間の受講をする必要があります。四週未満の変更は不可です)

※コース変更同様、お部屋タイプも現地でも変更することが可能です。但し、移動部屋タイプに空きがある場合に限りです。

(繁盛期はどの部屋タイプも満室になります。部屋に空きがない場合、変更はできません)

※コース変更および部屋タイプ変更に伴う、オプション間の差額は現地で支払い可能です。(現地通貨フィリピンペソで回収致します)

尚、マイナス差額の返金には対応しておりません。

※学生様の要望に応じて、マンツーマン授業をアレンジすることは可能です。但し、行き過ぎた要求およびコース内容を超えたアレンジは対応できません。

(専門知識を要する内容、部分的にTOEICコースにする、全てスピーキング科目に設定、フリートーク、等のアレンジは対応できません)

### 初級者向け本格スパルタの校風

ロンロン校は「中上級者向けのスパルタ校」として運営しています。学内のレベル分けにより、学生のレベルの棲み分けがしっかりとできています。似たレベルの学生が揃うため、他学生とも臆することなくコミュニケーションをとることができています。また、ロンロン校ではスパルタ式の教育を導入しています。ヘルプには真面目な学生が多く集まるため、風紀ある学校で学びたい方、モチベーションの高い学生が集まる場で学びたい方には絶好の環境です。学習・生活の両面を学校が管理するため、現地トラブルが不安なお客様でも安心です。

**第一に「安全」、第二に「学習に没頭できる環境」を考えています。外出・門限に関するルールが厳しいため、校則に縛られることなく外出したい方は入学をご遠慮ください。尚、平日は外出禁止、土曜の外出可能な時間帯は6:00-24:00、日曜は6:00-18:00です。(別途、未成年者には細かいルールを設ける場合があります)**

### スパルタ式の英語教育

スパルタ式の教育を採用する理由は、より多くの人に「限られた期間の中で最大限の結果」を出していただくためです。濃厚なカリキュラム・真面目な学習環境は「真剣に英語力向上を考える学生」を集めます。ヘルプでの留学は勉強漬けになるため大変だと思いますが、学校のカリキュラムを継続することで英語学習は必ず実を結びます。また、厳しい環境で学ぶことによって得られるものも多くあります。キャリア、海外進学、ワーキングホリデー等、人によって英語を学ぶ動機は様々ですが、英語に関わる分野では、英語はできるに越したことはありません。スパルタ式の教育は万人受けする手法ではありませんが、真面目な環境で学びたい方、厳しい環境に身を置きたい方には大きなメリットがあります。

## 2-2. ロンロン校の校舎



ロンロン校は七階建ての校舎です。山肌に立地する建物のため、玄関（上写真）は六階です。

ロンロン校（右図：本校舎）	
7F	大講義室（CCBと兼用）
6F（玄関）	オフィス（一般学生）、自習室、寮（一般学生）
5F	寮（一般学生）、教室（CCBと兼用）
4F	食堂、寮（一般学生）
3F	ジム（一般学生）、オフィス・自習室（ジュニア）
2F	教室（一般学生）
1F	教室（一般学生）

※CCB：Concordia International Collage of Benguet の略

※一般学生のジュニア寮への立ち入りは禁止です。

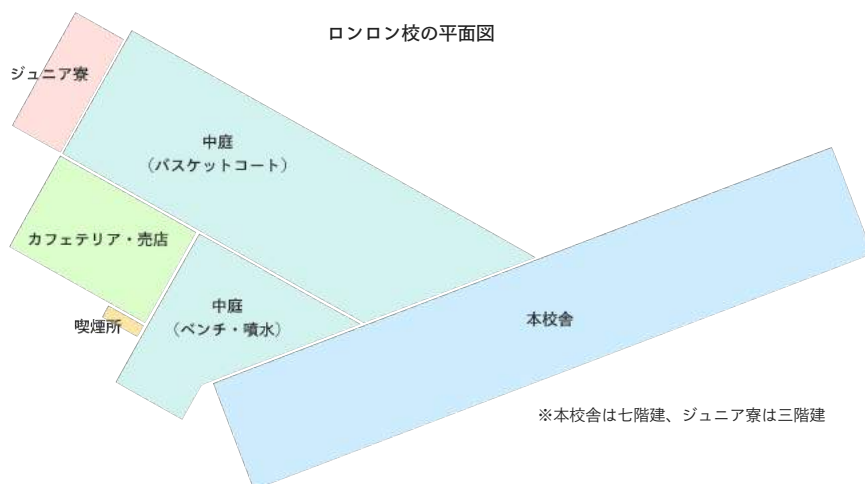
※カフェテリア・売店は深夜まで営業しています。

※ジュニア学生に配慮して、喫煙所は校舎から離れた場所にあります。

※中には多くのベンチ・机を設置してあります。

天気の良い日には、多くの学生が外で勉強しています。

※自習室は深夜まで解放しています。（通常午前二時頃まで）



ロンロン校（本校舎）



ジュニア寮 ※ロンロン校には多くのジュニアが在籍しますが、一部共有スペースを除いて生活圏は異なります。





中庭 (噴水)



中庭 (ベンチ)



中庭 (バスケ)



中庭 (バスケ)



学生寮 (Jr.)



エントランス



マンツーマン教室



マンツーマン教室



フィリピン人講師



マンツーマン授業



マンツーマン授業



マンツーマン授業



グループ授業



グループ授業



グループ授業

スタッフも同校舎内に住んでいます。お困りのことがあれば、お気軽にオフィスまでお越しください。

**EOP (English Only Policy) - イングリッシュオンリーポリシー**

ロンロン校の学生は、平日24時間EOPが課せられています。学内の敷地内では、英語のみでコミュニケーションをとる必要があります。お守りいただけない場合、罰金があります。スタッフが常時見張りを行っていますので、ご注意ください。尚、オフィス内のみ母国語使用を認めています。（日本人スタッフに対しても、可能な限り英語をご使用ください。止むを得ず日本語を使わなければいけない場合は、校内マナーとして必ず一言英語で許可をとってから、日本語を使うようにしてください）違反者から徴収した罰金は、プログラム末のペナルティパーティ費用に充てられます。



ロビー



エントランス



自習室



食堂



カフェテリア



カフェテリア



ジム



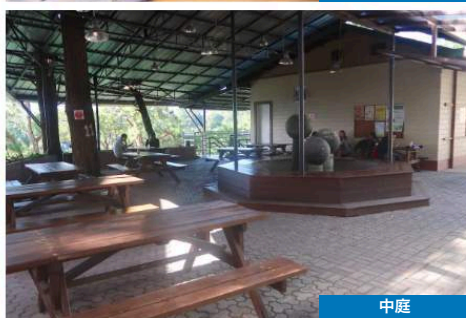
クリニック



売店



エントランス



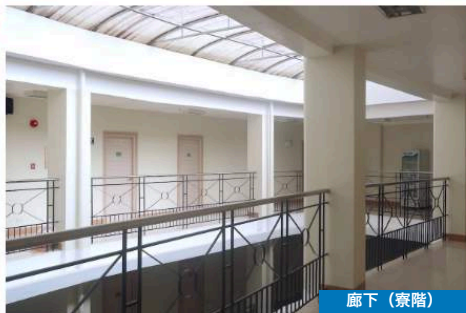
中庭



カフェテリア



廊下 (教室階)



廊下 (寮階)



廊下 (教室階)



校内には、売店・クリニックが設備してあります。また、大規模なカフェテリアやジムがあるため、学校の外に出なくとも、日常生活に困ることはありません。※困ったことがあれば、ご遠慮なくオフィスへお越しください。

ジム ※校舎内三階の一角にあります。



カフェテリア ※深夜まで営業しています。



## 2-3. ロンロン校のプログラム概要

### (1) プログラムの流れ

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1週目	渡航	プレACEMENTテスト オリエンテーション	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング	通常授業 模擬試験	休み
2週目	休み	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング	通常授業	休み
3週目	休み	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング	通常授業 模擬試験	休み
4週目	休み	通常授業	通常授業	通常授業 プログラム末テスト	通常授業 ミーティング	通常授業 ペナルティパーティ	休み (外泊可)

ロンロン校のプログラムは4週1単位です。上表は、プログラム1週目に入学者の場合のスケジュール例です。（隔週の受け入れのため、入学日によってはプログラム3週目からとなります。この場合も同様、入学初日でオリエンテーションおよびプレACEMENTテスト（レベル分け試験）を実施します。

- ※ 団体ピックアップ利用の場合、月曜の早朝にキャンパス到着となります。午前はお休みいただき、午後よりスケジュールを開始します。
- ※ プログラム末の週末のみ「外泊を伴う外出」を認めています。外泊の場合、校内にて申請手続きをする必要があります。（バギオ市内の宿泊は不可）

#### プレACEMENTテスト

レベル判定の試験です。試験の結果で使用する教科書やグループ授業が振り分けられます。ESLコースの場合、四技能を測る試験です。（筆記、エッセイ、面接）TEST対策コースの場合、それぞれの試験の模擬試験を実施します。（最初の1プログラムは、プレACEMENTテストの結果によってレベル分けが行われます。以降は、毎週の模擬試験および授業の習熟度を考慮して、レベル分けが行われます）

#### 新入生オリエンテーション

留学に必要な手続きや学校生活に必要な知識をレクチャーします。学校内の説明の後、生活品の買い出しの為、近隣のショッピングモールへお連れします。モールでは両替が可能です。日本の両替レートは悪いので、フィリピン到着後に両替をすることをお勧めします。（マニラ空港/クラーク空港の両替レートは悪くありませんが、空港での大きなお金の両替はトラブルに繋がる可能性があるため、空港での両替はその場の使用分のみにお勧めします）

#### ミーティング（チームミーティング）

共有事項・喚起事項の連絡を行います。

- ※ 卒業生に対しては、別途ミーティングを設けています。（帰り方についてのレクチャーを行います）

#### 模擬試験（対象：テスト対策コース）

隔週金曜の放課後、TOEIC・TOEFL・IELTSの模擬試験を行っています。

#### 在校確認（土曜・日曜・祝日）

ロンロン校では、土曜真夜中24時、日曜18時に在校確認をしています。（スタッフ・ボランティア学生のルームチェック）

確認時に部屋で在籍が確認できない場合、ペナルティを課しています。（1～3週間の外出禁止または除籍）

- ※ 平日、抜き打ちの在校確認を行う場合があります。（学外への無断外出はしないでください）



## (2) 1日の流れ

通常授業の1日の流れは以下の通りです。

※ロンロン校「ESL」コースの場合（マンツーマン授業4コマ、グループ授業2コマ） ※1コマ = 45分

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Speaking	
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Writing	
09:50 ~ 10:35	マンツーマン授業 (3)	Reading	講師1 学生4 のグループ授業
10:45 ~ 11:30	グループ授業 (1)	Grammar	
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	オンライン授業	Online reading	
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Listening	
15:15 ~ 16:00	グループ授業 (2)	Speaking	
16:10 ~ 16:55	空き時間		
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加。受講しない場合、指定場所で義務自習
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加。受講しない場合、指定場所で義務自習
20:00 ~ 21:00	単語テスト	Vocabulary	金曜は月曜～木曜のまとめテストです
21:00	パターン学習	Phrasing	

## (3) 開講コース

ロンロン校では、以下のコースを開講しています。 ※1コマ = 45分

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	合計
Light ESL	2コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	-	7コマ
ESL	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ
Sparta ESL	5コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	10.5コマ
Speaking intensive	5コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	10.5コマ
TOEIC	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ
TOEFL	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ
IELTS	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ
Advance TOEIC	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ
Advance TOEFL	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ
Advance IELTS	4コマ	2コマ	1コマ	2コマ (*)	0.5コマ	9.5コマ

※オプション授業は選択制の授業です。必ず1コマは選択し、受講する必要があります。選択をしない場合、同時間帯に義務自習をする必要があります。

## コース紹介

### 英会話コース (ESL・Sparta ESL・Light ESL・Speaking incentive) - Lv.1~Lv.5

定番の一般英会話コースです。HELPではマンツーマン授業数に応じて「Sparta ESL」「ESL」「Light ESL」「Speaking Intensive」4コースを開講しています。

マンツーマン授業では英語の4スキル（読む・聞く・話す・書く）をバランスよく学びます。尚、ロンロン校で一番ポピュラーなコースは「ESL」です。

※Light ESLはトライアルコースです。

※レベリングは下表をご参照ください。

レベル	コース	ステージ	受講レベルの目安	受講期間の目安
Advanced	ESL Sparta ESL Light ESL Speaking Intensive	Stage 5	ゆっくりだが、正確かつ柔軟に受け答えができる方	-
Intermediate		Stage 4	語彙力があり、簡単な英会話は問題なくできる方	4-12週
Pre Intermediate		Stage 3	挨拶/紹介等、お決まりパターンの会話はできる方	4週
Elementary		Stage 2	少しだけ英会話に慣れている/経験がある方	4週
Beginner		Stage 1	はじめて英会話を学ぶ方	4週

### テスト対策コース (TOEIC・TOEFL・IELTS) - Lv.1~Lv.5

校内でも各試験の対策指導に長けた講師が担当をします。英会話コースと比較して、マンツーマン授業数は控えめですが、その代わりに各授業の負荷が高くなります。

授業では基礎をしっかりと築き、演習と解説を繰り返すことによって、スコアアップにアプローチをします。

#### 【エントリースコアについて】

テストコースでは五段階のレベリングをしています。各レベル、受講に際して「エントリースコア」が求められます。エントリースコアを満たした場合にのみ、各Stageでのコース受講が可能です。事前に公式スコアを提出いただくか、事前のスカイプテストで満たす必要があります。

#### 【ターゲットスコアについて】

各Stageでは、エントリースコアと同様に「ターゲットスコア」が設定されています。

上のStage受講をする場合、定期的に行われる模擬試験でターゲットスコアを満たす必要があります。

レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講期間の目安
Advanced	Advanced TOEIC	Stage 5	750	Over 750	-
Intermediate	TOEIC	Stage 4	650	750	4-8週
Pre Intermediate		Stage 3	550	650	4週
Elementary		Stage 2	450	550	4週
Beginner		Stage 1	350	450	4週
レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講期間の目安
Advanced	Advanced TOEFL	Stage 5	65	Over 65	-
Intermediate	TOEFL	Stage 4	50	65	8-12週
Pre Intermediate		Stage 3	40	50	4週
Elementary		Stage 2	30	40	4週
Beginner		Stage 1	20	30	4週
レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講期間の目安
Advanced	Advanced IELTS	Stage 5	6.5	Over 6.5	-
Intermediate	IELTS	Stage 4	5.0	6.5	12-16週
Pre Intermediate		Stage 3	4.0	5.0	4週
Elementary		Stage 2	3.0	4.0	4週
Beginner		Stage 1	2.5	3.0	4週

## コース詳細 (ESL)

ロンロン校が提供する一般英会話コースで最もポピュラーなコースです。以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
ESL	4コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	0.5コマ	0.5コマ	10コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止です。
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Writing	ライティングに必要な基礎知識（起承転結に必要なフレーズ等）を学習し、その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。エラーだけではなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
09:50 ~ 10:35	マンツーマン授業 (3)	Reading	授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。単に読むだけではなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションも適宜あります。他教科と比較して単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
10:45 ~ 11:30	グループ授業 (1)	Grammar	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ないため、授業中に発言する機会は多くあります
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。（空き時間に各自で受講をしに行く必要があります）
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Listening	キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では単に教科書の問題を解くだけではなく、要所所でリスニングのためのテクニック指導を行います。（音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います）
15:15 ~ 16:00	グループ授業 (2)	Speaking	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。学生が少ない授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。
16:10 ~ 16:55	空き時間		
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	単語テスト	Vocabulary	レベル (Stage) ごとに試験内容が異なります
19:45 ~ 20:15	パターン学習	Phrasing	レベル (Stage) ごとに学習内容が異なります

### こんな人にオススメ!

初めて英会話を学ぶ人にオススメのコースです。ヘルプが提供する英会話コースの中では一番バランスが取れています。

まずはこちらのコースをお取りください。（英会話コース受講者のうち、九割が「ESL」コースを受講しています）

※4週間のプログラムごとにコース変更が可能です。より多くの授業を取りたい場合、「Sparta-ESL」へグレードアップをすることができます。ただし、コース間の差額の支払いが必要です。差額費用は、現地オフィスで回収いたします。

### コース受講前に取り組んで欲しい内容

限られた留学期間でより効率的に英語を身につけるため、可能な限り以下の準備をお願いします。

#### 【基礎語彙・表現・文法】

市販されているメジャーな参考書を活用して、基礎的な単語・表現および文法は、事前に学習しておくことをおすすめします。留学が始まってからも学び直す必要がありますが、できる限り事前にやっておくことで、現地で良いスタートを切ることができます。基礎知識があるほど、現地での吸収が良くなります。

#### 【自己紹介】

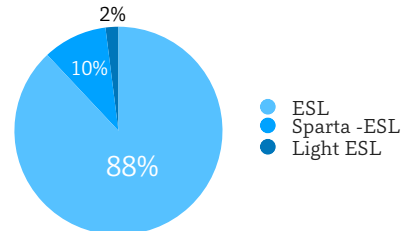
現地では、多くの講師・友人と関わります。1~2分の自己紹介は事前に考えておいてください。また、質問されることを想定して、身の回りのことは簡単に紹介できるよう、事前に練習しておくことをおすすめします。（良い自己紹介は、良い人間関係をつくります）

#### 【授業で使う言葉】

品詞、時制などの授業で使う言葉は事前に覚えてきてください。また、講師の話の止め方、質問のパターン等も、事前に用意しておいた方が良い授業ができます。

※理解の度合いなども事前に英語で想定しておくことをおすすめします。（例えば、分かる/大体分かる/少しだけ分かる/分からない…etc.）

ESLコースの受講状況



## コース詳細 (Sparta ESL)

通常のESLよりも、もっと一日のコマ数を増やしたい方に向いているコースです。以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
Sparta ESL	5コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	0.5コマ	0.5コマ	11コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止です。
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Writing	ライティングに必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。エラーだけではなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
09:50 ~ 10:35	マンツーマン授業 (3)	Reading	授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。単に読むだけではなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションも適宜あります。他教科と比較して単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
10:45 ~ 11:30	グループ授業 (1)	Grammar	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ないため、授業中に発言する機会は多くあります
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。(空き時間に各自で受講をしに行く必要があります)
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Listening	キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では単に教科書の問題を解くだけではなく、要所要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。(音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います)
15:15 ~ 16:00	マンツーマン授業 (5)	※	学生の要望に応じて科目が設定されます。特別な希望がなければ、教科は担任講師によって設定されます。尚、ESLの内容を著しく外れる内容には対応できません。(例、深い専門知識を要する講義、英検対策/TOEIC対策、フリートーク等)
16:10 ~ 16:55	グループ授業 (2)	Speaking	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。学生が少ない授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	単語テスト	Vocabulary	レベル (Stage) ごとに試験内容が異なります
19:45 ~ 20:15	パターン学習	Phrasing	レベル (Stage) ごとに学習内容が異なります

### こんな人にオススメ!

ESLコースに、マンツーマン授業を1コマ追加したコースです。朝から晩までみっちりマンツーマン授業を取りたい人にオススメのコースです。

非常にボリュームの多いクラスのため、心配な方は「ESLコース」の受講をお勧めします。(「ESLコース」ヘダウングレードは返金対象外です)

※ ESL受講生の九割は「ESLコース」を受講しています。

※プログラムは4週単位です。コース変更を希望する場合、遅くとも2週間前までに申請をお願いします。直前申請の場合、手配が間に合わない場合があります。

## コース詳細 (Speaking Intensive)

コマ数はSpartaESLと同じですが、1日にスピーキングが2時間と決まっている代わりに金額をSparta ESLより安くできるコースです。

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
Sparta ESL	5コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	0.5コマ	0.5コマ	11コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止です。
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Writing	ライティングに必要な基礎知識（起承転結に必要なフレーズ等）を学習し、その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。エラーだけではなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
09:50 ~ 10:35	マンツーマン授業 (3)	Reading	授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。単に読むだけではなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションも適宜あります。他教科と比較して単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
10:45 ~ 11:30	グループ授業 (1)	Grammar	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ないため、授業中に発言する機会は多くあります
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。（空き時間に各自で受講をしに行く必要があります）
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Listening	キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では単に教科書の問題を解くだけではなく、要所所でリスニングのためのテクニック指導を行います。（音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います）
15:15 ~ 16:00	マンツーマン授業 (5)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止です。
16:10 ~ 16:55	グループ授業 (2)	Speaking	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。学生が少ない授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	単語テスト	Vocabulary	レベル (Stage) ごとに試験内容が異なります
19:45 ~ 20:15	パターン学習	Phrasing	レベル (Stage) ごとに学習内容が異なります

### こんな人にオススメ！

スピーキングを集中して勉強したい方にオススメです。

※プログラムは4週単位です。コース変更を希望する場合、遅くとも2週間までに申請をお願いします。直前申請の場合、手配が間に合わない場合があります

## コース詳細 (Light ESL) ※受付は四人部屋のみ

トライアルのコースです。以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
Light ESL	2コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	-	-	7コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Speaking	授業トピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止です。
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Writing	ライティングに必要な基礎知識（起承転結に必要なフレーズ等）を学習し、その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。エラーだけではなく、より良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等も並行して学びます。
09:50 ~ 10:35	空き時間		
10:45 ~ 11:30	グループ授業 (1)	Grammar	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。グループで基礎文法の学習を行います。学生が少ないため、授業中に発言する機会は多くあります
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。（空き時間に各自で受講をしに行く必要があります）
14:20 ~ 15:05	空き時間		
15:15 ~ 16:00	グループ授業 (2)	Speaking	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。学生が少ない授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。
16:10 ~ 16:55	空き時間		
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	空き時間		
19:45 ~ 20:15	空き時間		

### こんな人にオススメ!

学習体力に自信が無い方のためのトライアルコースです。（受講目安は4週間です）

※4週間のプログラムごとにコース変更が可能です。より多くの授業を取りたい場合、現地で差額費用を支払うことによって「ESL」または「Sparta-ESL」へのグレードアップをすることができます。（差額費用は、オフィスで回収いたします）

※マンツーマン授業は2コマあります。授業科目「Reading」「Listening」「Speaking」「Writing」は自身で自由に設定できます。但し、同じ科目は重複して選択できません。

※トライアルコースのため、4人部屋のみ受付です。（他のルームタイプでは受付不可）

※Light ESLコースに単語テスト・パターン学習はありません。



## コース詳細 (TOEIC) ※advanceを含む

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
TOEIC	4コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	0.5コマ	-	9.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Listening (Part 1 & 2)	講師と共に演習と解説を繰り返します。解答を導くためのテクニックも併せて解説がされます。頻出する単語・キーワード・パラフレーズについても学習をします。
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Listening (Part 3 & 4)	パート1・2の授業展開に加えて、リスニングの中でのキーワードの捉え方を学びます。スクリプトを基に音読及び発音チェックを行い、基礎力の向上にも取り組みます。
09:50 ~ 10:35	グループ授業 (2)	Listening	講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
10:45 ~ 11:30	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。(空き時間に各自で受講をしに行く必要があります)
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	マンツーマン授業 (3)	Reading (Part 5 & 6)	講師と共に演習と解説を繰り返します。解答を導くためのテクニックも併せて解説がされます。頻出する単語・キーワード・パラフレーズについても学習をします。語彙問題、自制問題、文法問題、品詞問題等、問題はカテゴリーごとに体系的に学習をします。
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Reading (Part 7)	演習と解説を繰り返します。長文読解のコツと問題を早く解くためのテクニックがレクチャーされます。並行して、学生の基礎的な読解力をあげるため、授業ではタイムリミットを設けてより多くの問題をこなすことを目標にしています。授業でやりきれなかった問題は、課題として出されます。
15:15 ~ 16:00	グループ授業 (2)	Reading	講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
16:10 ~ 16:55	空き時間		
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	単語テスト	Vocabulary	レベル (Stage) ごとに試験内容が異なります
19:45 ~ 20:15			

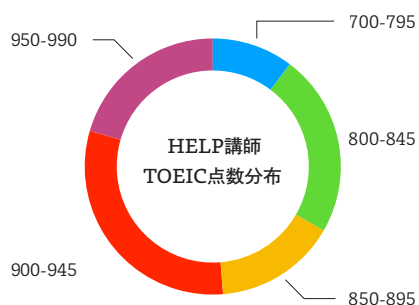
### TOEICコースについて

4時間のマンツーマン授業は「パート1・2」「パート3・4」「パート5・6」「パート7」に分けて授業を行います。基本的には演習型の講義です。学生の間違った問題、理解が浅い問題に対して解説を中心に授業が展開されます。授業では、テスト攻略に必要な「語彙教科」「頻出フレーズ」「解法のテクニック」「時間配分」を中心に学びます。学習の量と質より、スコアアップへのアプローチを行います。毎週末に実施される模擬試験で、定期的に成長を確かめることが可能です。

※元のスコアが600点以下の場合、4週のコース受講で平均100点前後のスコアアップが見込めます。600点以上の場合、平均50-80点アップが見込めます。

学生によっては4～8週で200～300点アップの実績があります。

※講義は全て英語で行われます。基礎の英会話が苦手な方は、まずはESLコースを受講してください。



#### ■ フィリピン人講師のTOEICスコア分布

左図は、同グループ・HELPクラーク校の全フィリピン人講師の統計です。講師の半数が900以上のスコアをマークしています。900以上のスコアを持つ講師の中でも、TOEIC指導に適した講師のみをTOEICコースの担当としています。(HELPクラーク講師のTOEIC平均は880前後です)

※規模・コストの都合により、ロンロン校では、全講師の統計を取る事ができていませんが、クラーク校と同様、TOEICコース担当講師は900以上の講師の中から、TOEICの指導に長けた講師のみをアサインしています。

## コース詳細 (TOEFL) ※advanceを含む

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
TOEFL	4コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	0.5コマ	-	9.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Reading	TOEFLコースのテキストに沿って授業が進みます。単に問題を解くだけでなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションが適宜入ります。(頻出語彙やキーワード、パラフレーズについても幅広く学びます)
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Listening	キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では単に教科書の問題を解くだけでなく、要所要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。(音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います)
09:50 ~ 10:35	グループ授業 (2)	Listening	講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
10:45 ~ 11:30	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。(空き時間に各自で受講をしに行く必要があります)
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	マンツーマン授業 (3)	Speaking	「Independent Tasks」「Integrated Tasks」の形式ごとに演習を行います。基本的には演習と解説の繰り返しです。話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの型についても適宜レクチャーがあります。
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Writing	ライティングに必要な基礎知識を学習し、その後テキストの演習に取り組みます。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。誤りの訂正だけでなく、ライティングにおけるより良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
15:15 ~ 16:00	グループ授業 (2)	Reading	講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
16:10 ~ 16:55	空き時間		
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	単語テスト	Vocabulary	レベル (Stage) ごとに試験内容が異なります
19:45 ~ 20:15			

### TOEFLの概要

TOEFLは「海外の学術機関」に適した英語力かを判定するためのテストです。大学生生活・実際の講義等を想定しているため、試験はアカデミックな内容に特化しています。(科学、芸術、歴史、心理学等、様々な分野での出題があります) 通常の英会話やTOEICのようなビジネス英語と共通する部分もありますが、TOEFLでは専門的な内容や処理能力を問われる出題もあるため、語彙力や理解力がより必要とされます。また、スピーキングやライティングのセクションでは、論理的思考も必要とされます。

### ロンロン校のTOEFLコースについて

ロンロン校のTOEFLコースでは、五段階のレベル (Stage 1-5) を設定しています。

※下級のステージでは正答率を上げることを狙いにしています。上級のステージに行くに伴い、問題の難易度が上がり、より時間配分を意識したレッスンになります。

Stage 1/2 (対象: TOEFL iBT 30/40未満)	Stage 3/4 (対象: TOEFL iBT 50/65未満)	上級   Advanced
(理解を深め、正答率を上げることを狙っています) ・消去法によるアプローチを中心に、テキストに沿って演習 ・実際のテストと同様、生物学、心理学、芸術などのトピックを扱う ・全タイプの問題系統を網羅するまでは、1授業につき1問の演習 ・初級レベルの語彙およびパラフレーズの増強 ・テンプレートを意識した演習 ・基礎的なライティングスキルについての確認(文法 表現 構造、等)	(初級より、難易度の高い問題を取り扱う。正答率を更に上げ、時間を意識して問が解けるようになることを狙っています) ・指導方針は基本的に初級と同様 ・初級より難易度の高い問題を取り扱う	(時間を強く意識して、問題が解けるようになることを狙っています) ・本番に近い形式で演習と解説を反復 ・難易度の高い問が安定して解くためのテクニック指導

## コース詳細 (IELTS) ※advanceを含む

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン授業	1:4グループ授業	オンライン授業	オプション授業	単語テスト	パターン学習	合計
IELTS	4コマ	2コマ	1コマ	最大2コマ	0.5コマ	-	9.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	科目	備考
06:30 ~ 07:50	起床・朝食		
07:00 ~ 07:45	空き時間		
08:00 ~ 08:45	マンツーマン授業 (1)	Reading	IELTSコースのテキストに沿って授業が進みます。単に問題を解くだけでなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションが適宜入ります。(頻出語彙やキーワード、パラフレーズなどについても幅広く学びます)
08:55 ~ 09:40	マンツーマン授業 (2)	Listening	キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では単に教科書の問題を解くだけでなく、要所要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。(音を捉える為、発音やイントネーションの指導も授業内で行います)
09:50 ~ 10:35	グループ授業 (2)	Listening	講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
10:45 ~ 11:30	オンライン授業	Online reading	コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。(空き時間に各自で受講をしに行く必要があります)
11:40 ~ 12:25	空き時間		
12:30 ~ 13:15	昼食		
13:25 ~ 14:10	マンツーマン授業 (3)	Speaking	「Part 1」「Part 2」「Part 3」の形式ごとに演習を行います。頻出問題の反復練習をします。話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの型についても適宜レクチャーがあります。
14:20 ~ 15:05	マンツーマン授業 (4)	Writing	「Task 1」「Task 2」の形式ごとにライティング課題が出されます。授業では、課題の添削後、ミスの解説とより良いライティングをするための指導が行われます。授業では、実用的なフレーズや文章の組み立て方についても学習し、より早く書けるテクニックについても解説が行われます。
15:15 ~ 16:00	グループ授業 (2)	Reading	講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
16:10 ~ 16:55	空き時間		
17:00 ~ 18:30	夕食		
17:05 ~ 17:50	オプション授業 (A)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
18:20 ~ 19:05	オプション授業 (B)		任意参加です。受講しない場合、所定の教室で同時間帯に自習をする必要があります
19:10 ~ 19:40	単語テスト	Vocabulary	レベル (Stage) ごとに試験内容が異なります
19:45 ~ 20:15			

### IELTSの概要

IELTSは、イギリス、アメリカ、オーストラリアなど120カ国、約6,000の教育機関・国際機関・政府機関が採用し、年間140万人が受験する、世界的に認められた英語運用能力試験です。アメリカでは、約3,000校の大学がIELTSを採用しています。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能を測定する試験で、記述式の筆記試験と面接によるスピーキングテストとで構成され、「使える英語」を測る試験として高く評価されています。イギリスで一般的な語彙・表現やイギリス英語話者・オーストラリア英語話者のナレーションが多いのが特徴です。(IELTSには、留学を目的とした「**アカデミック・モジュール**」と、学業以外の海外研修や移住を目的とした「**ジェネラル・トレーニング・モジュール**」の二種類があります)

### IELTS Academic (アカデミック) モジュールとは？

アカデミックモジュールは、海外の大学や大学院に留学や通学したい方の英語力レベルを証明するテストです。イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリアを中心に、教育機関の入学基準としてアカデミックモジュールのスコアを求めている大学が年々増えてきています。尚、アカデミックという名前から想像できるように、テストでは学術上のトピックが中心です。(化学・生物・工学・文学、等)ライティング科目では、グラフ、チャート、イラストなどから情報を読み取る問題も出題されます。

### IELTS General (ジェネラル) モジュールとは？

ジェネラルモジュールは、海外での移住・就労をしたい方の英語力レベルを証明するテストです。英語圏での生活に困らないようことを目的にしたテストのため、アカデミックモジュールと比較して一般教養や日常的なトピックが多く取り扱われます。ライティング科目では、手紙やメールの返答など海外生活で必須となる力を評価する問題も出題されます。

### 「Academic」と「General」モジュールの違い

アカデミック・ジェネラルモジュール間の試験内容の違いは、リーディング・ライティング科目です。リスニング・スピーキングは、同じ試験です。適切なモジュールのテストを受験する必要があるのをご注意ください。

### クラーク校のIELTSコースについて

HELPクラーク校では、入学時にプレイズメントテストを行い、学生の校内レベルをStage 1-5の五段階に振り分けています。グループ授業は同一レベルの学生で構成されます。また、授業で使用する教材もレベルによって決定します。（セクション間で能力にばらつきがある場合は、学生の各セクション能力に合わせて教材を充てます）基本的には、レベルに合わせて授業展開が行われます。

Stage 1/2 (対象: IELTS 3.0/4.0未満)	Stage 3/4 (対象: IELTS 5.0/6.5未満)	上級   Advanced
(理解を深め、正答率を上げることを狙っています) ・消去法によるアプローチを中心に、テキストに沿って演習 ・実際のテストと同様、生物学、心理学、芸術などのトピックを扱う ・全タイプの問題系統を網羅するまでは、1授業につき1問の演習 ・初級レベルの語彙およびパラフレーズの増強 ・テンプレートを意識した演習 ・基礎的なライティングスキルについての確認 (文法 表現 構造、等)	(初級より、難易度の高い問題を取り扱う。正答率を更に上げ、時間を意識して問が解けるようになることを狙っています) ・指導方針は基本的に初級と同様 ・初級より難易度の高い問題を取り扱う	(時間を強く意識して、問題が解けるようになることを狙っています) ・本番に近い形式で演習と解説を反復 ・難易度の高い問が安定して解くためのテクニック指導

### 備考 (フィリピン人講師のIELTS事情)

ヘルプ英語学校でIELTSコース担当をするフィリピン人講師のスコア統計です。（2018年に実施された公式試験の受験者全13名のフィリピン人講師が対象）

Average : Listing 8.33 | Reading 8.08 | Writing 6.95 | Speaking 7.79 | Overall 7.83

- ・ Listing /Reading/Speakingでは、8割以上が7.5以上をマーク (Listeningは3割の講師が満点)
- ・ Writingでは、8割以上が6.5以上をマーク (7.0以上は4割、7.5以上は2割)
- ・ 受験費用が高額のため、多くの講師に公式試験を受験させるのが難しいのが現状です。上記は参考までにご参照ください。(対象者は公式試験初受験者)
- ・ 原則、学生の推定保有スコア+1.0以上かつティーチングスキルが高い講師をIELTS担当として配置しています。
- ・ グループ内のIELTSトレーニングおよび勉強会は、高得点を取得した講師が中心となって行われます。(全キャンパス共有)
- ・ 高得点取得者でも、IELTS指導に向かない講師は、コース担当を行いません。

### 【まとめ】TOEIC・TOEFL・IELTSコース受講のエントリースコア・ゴールスコア

レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講期間の目安
Advanced	TOEIC	Stage 5	750	Over 750	-
Intermediate		Stage 4	650	750	4-8週
Pre Intermediate		Stage 3	550	650	4週
Elementary		Stage 2	450	550	4週
Beginner		Stage 1	350	450	4週
レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講期間の目安
Advanced	TOEFL	Stage 5	65	Over 65	-
Intermediate		Stage 4	50	65	8-12週
Pre Intermediate		Stage 3	40	50	4週
Elementary		Stage 2	30	40	4週
Beginner		Stage 1	20	30	4週
レベル	コース	ステージ	エントリースコア	ターゲットスコア	受講期間の目安
Advanced	IELTS	Stage 5	6.5	Over 6.5	-
Intermediate		Stage 4	5.0	6.5	12-16週
Pre Intermediate		Stage 3	4.0	5.0	4週
Elementary		Stage 2	3.0	4.0	4週
Beginner		Stage 1	2.5	3.0	4週

- ・ コース受講をする場合、初日のプレイズメントテストまたは隔週の模擬試験で、少なくとも Stage 1 のエントリースコアを満たす必要があります。
- ・ 定期的実施する模擬試験で各ステージに設定されたターゲットスコアを満たした場合、翌プログラムから上級のステージに切り替わります。

## 2-4. 授業

### 1、マンツーマン授業

講師1学生1の授業です。英会話系のコースでは「読む・聴く・話す・書く」の4技能をバランスよく学びます。一つの授業に対して、一教科が割り振られます。学生の要望に応じて強化科目・弱点科目に合わせた授業展開を作ることも可能です。ただし、偏ってスピーキング科目に設定したり、一般英会話の内容を著しく外れる内容には対応できません。テスト対策系コースでは、試験の各パート・セクションに合わせて授業が割り振られます。

(例：TOEICの場合は「パート1・2」「パート3・4」「パート5・6」「パート7」のように系統別に分けて授業展開)

### 2、1:4 グループ授業

講師1学生4の授業です。クラスはコース及びレベルごとに振り分けられます。グループ授業は、基本的にスピーキング科目です。講師が主体となって、ディスカッション・ディベートを行います。(グループクラスのレベルが合わない場合、スタッフにご相談ください)

### 3、オンライン授業

コンピューター室でのe-Learningです。各レベル、学習コンテンツが設定されています。

(空き時間に各自で受講をしに行く必要があります)

### 4、特別授業 (オプション授業)

講師1学生10~20の授業です。プログラム毎に複数の授業が開講され、自身の興味のある授業を選択する形式です。「文法」「発音」「表現」などの基礎学習の内容のものから、「ダンス」「ギター」などの娯楽要素のある授業が展開されています。

#### 一般的な開講授業 (ACADEMIC)

クラス名	ターゲット	概要
Daily Expression	Speaking	日常表現の学習
Pronunciation	Speaking   Pronunciation	発音矯正およびその反復練習
Improve your listening	Listening	リスニングのテクニック講義
Grammar made easy	Speaking   Grammar	学習者が陥りやすい文法ミスについて



#### その他の開講授業 (NON ACADEMIC)

クラス名	ターゲット	概要
Zumba   Dance	Dance	英語によるダンス指導
Guitar practice	Music	英語によるギター指導



### 3-1. 学生寮の概要

ロンロン校は七階建ての建物です。学校敷地内には食堂・売店・クリニックなどの生活に必須な施設から、ジムやカフェテリア等の娯楽施設などの生活をより快適にする娯楽施設も揃っています。

項目	内容
キャンパス名	ロンロンキャンパス (HELP Longlong Campus)
設立	1996年
住所	Lamtang LD, Longlong, La Trinidad City
最短受講期間	4週間 ※以降、二週単位で申込可 (4週、6週、8週、10週…)
インターネット環境	ロビー・自習室 (6F)、食堂 (4F) にて無料Wi-Fiを解放
門限 (月曜-金曜)	外出不可
門限 (土曜)	6:00-24:00の時間帯で外出可 (※1)
門限 (日曜)	6:00-18:00の時間帯で外出可 (※1)
EOPエリア	平日日中は英語使用が義務化されています (指定エリア)
定員	430名
日本人比率	5-10% ※時期によります
アクセス	ニノイ・アキノ国際空港から車で6時間   クラーク空港から車で4時間
受け入れ年齢	15歳以上
施設	自習室、売店、カフェテリア、ジム、バスケット等
部屋タイプ	1人/2人/3人/4人 (※2)

#### ※1

祝日の外出時間は曜日によって異なります。

金曜祝日の場合は土曜スケジュール、それ以外の曜日なら日曜と同じスケジュールです。

#### ※2

現地での差額支払いにより、部屋をグレードアップすることは可能です。(フィリピンペソ払い可)

学生都合によるグレードダウンの場合、一切の返金は致しません。

3-2. 部屋・施設



二人部屋



三人部屋



四人部屋



廊下



トイレ・シャワー

### 3-3. 食事

校内一階のダイニングホールにて給食が提供されます。

※バイキング形式です。各自、ご飯の時間内に食べます。

※韓国資本の学校ですが、韓国料理に偏った献立ではありません。（ただし、キムチは毎食です）

※日本食が恋しくなる人は、ふりかけや日本の調味料を持参することをおすすめします。





## 4-1. 生活規則

### 授業について

4週間を1つのプログラムとして授業が展開されます。授業は平日のみ開講されます。1コマの授業は45分です。授業は所定の教室で行われます。15分以上の遅刻は欠席扱いとなります。学校指定の教科書を使用して授業を行います。講師に要望を伝えることで、授業をカスタマイズすることが可能です。ただし、コース内容を逸脱することはできません。また、深い専門知識を有する内容等に対応ができません。（カスタマイズを前提の講師配置はできませんので、予めご了承ください）

### 講師変更について

講師はプログラム毎に入れ替わります。場合によっては、翌プログラムも同じ講師が担当する場合があります。 ※4週のプログラム終了後、校内所定フォームの講師評価を提出していただきます。講師と合わなかった場合、その理由を明確に書いてください。翌プログラムでは、その点を考慮して講師配置を行います。ただし、絶対の保証はできませんのでその点はご了承ください。

### English Only Policy (EOP)

平日日中の指定エリアでは英語使用が義務付けられています。規則を守らなかった場合、ペナルティが発生します。（聞き手もペナルティの対象です）尚、ロンロン校のオフィスでは母国語使用が可能です。困ったことがある場合は、EOP違反で解決するのではなく、オフィスへきて解決するようにしてください。周りの学生への配慮をお願いします。

### 門限の遵守

外出可能時間は必ず守ってください。違反者には数週間の外出禁止の罰則が課されます。学内の風紀だけでなく、学生の安全にも関わる非常に重要な規則です。度重なるケースや故意による場合、悪質な違反とみなし、退学措置をとります。なお、違反者に対しては、外出禁止ペナルティの他、学内掲示板に顔写真の入った警告文を貼り出します。絶対に門限を破らないでください。

## 4-2. 罰則規則

違反の内容	罰則（外出禁止）
キャンパス内への酒類搬入	2週
キャンパス内での酒類搬入および飲酒の発覚	3週
酒瓶の発見	3週
門限違反（60分未満）※過失の場合に限る	1週
門限違反（60分超過～3時間未満）※過失の場合に限る	2週
門限違反（3分超過～6時間未満）※過失の場合に限る	3週
無断外泊（6時間以上の門限違反）	除籍
キャンパス内でのギャンブル行為	2週
カジノへの出入り	2週
部屋での喫煙・炊事 ※再犯の場合、除籍	1週 及び 罰金 P500
他学生の部屋への立ち入り（同性の場合）※招き入れた学生も同様に処罰	2週
他学生の部屋への立ち入り（異性の場合）※招き入れた学生も同様に処罰	3週
異性部屋へ20分以上滞在 ※招き入れた学生も同様に処罰	除籍
ジュニア専属寮への立ち入り または 本校ジュニア部屋への立ち入り	除籍
マンツーマン授業用の教室に学生二名以上で滞在	1週
滞在期間中に累計4週以上の外出禁止が課された場合	除籍
異性との過剰なスキンシップ	除籍
暴力、威嚇、その他迷惑行為	除籍
講師との交際	除籍
未成年の飲酒・喫煙	除籍
法律違反 および 法に抵触する恐れのある場合	除籍
卒業前で罰則が履行できない場合	罰金 P1000/週
パスウェイコース生、コンコーディア大学生、ジュニア学生への不要な接触	状況判断
他学生への迷惑行為（泥酔、マナー違反、学習妨害、嫌がらせ等）	状況判断

社会的なモラルの欠如または著しく配慮に欠ける言動があった場合、スタッフ権限により罰則または退学措置をとる場合があります。異なる国籍の学生が共同生活を行うため、文化的な習慣などは互いに尊重し合う必要があります。互いに有益な関係が築けない場合、学校が特別な措置をとる場合があります。

※ 学校の風紀を保つためにも、門限及び飲酒・喫煙のルールをはじめ、共同生活の上でのマナーにはくれぐれもご注意ください。

## 5-2. 単語テスト

ロンロン校では、平日毎晩単語テストを行っています。在学する学生は、必ずテストを受ける必要があります。

(内容：録音形式（月曜～金曜）＋筆記形式（金曜）)

(備考)

- ・校内でのレベル付およびコースに応じて、問題数及び内容が異なる（25-45問）
- ・平日毎晩20時台に実施（会場の都合上、レベル・コースに応じて開始時間が異なる）
  - ※ 指定の教室を利用し、個々に録音および提出（試験時間は5分程度）
- ・金曜は月曜～木曜までの復習テスト（筆記試験）
- ・学校が提供する録音機材もしくは個人のスマートフォン等で録音
  - ※個人スマートフォンを利用して録音をする場合、データは個人USBメモリ等で提出

(ペナルティ)

- ・欠席の場合は、一律100ペソの罰金 ※病欠等、正当な理由がある場合は減額または免除
- ・誤答1点につき1ペソの罰金 ※4週毎のプログラム末にまとめて回収
- ・土曜の自習1時間につき50ペソを罰金額から減額可
- ・不正および不相应な事があった場合、内容に応じて別途ペナルティ有り



## 5-3. 模擬試験、公式試験

### 模擬試験

テスト対策コース（IELTS・TOEFL・TOEIC）では、隔週金曜夜に模擬試験を実施しています。（プログラム1週目及び3週目）

※コース外の学生が試験を受ける場合等、費用がかかります。（TOEIC/TOEFL/IELTSは400ペソ）

※コース内の学生及び申込者は受験義務があります。欠席の場合、ペナルティが発生します。（コース外の申込者の場合、徴収した費用は返金いたしません）

### 公式試験

TOEIC) 学内で申し込み可能です。バギオ市内で受験可能です。

TOEFL) 各主催団体の公式サイトより個人で申し込む必要があります。バギオ市内で受験可能です。

IELTS) IDP主催の公式試験の場合、学内で申込可能です。

※British Council主催の場合、個人で申し込む必要があります。

※IELTS for UKVI試験はバギオ市内で受験ができません。最寄りの受験会場はマニラです。イギリス留学のためにIELTS受験が必要な方はご注意ください。



## 6-1. 清掃（ハウスキーピング）

申請制です。校内所定のフォームに記入申請することで、週に最大三回まで部屋の清掃サービスを受けることができます。なお、廊下や教室等の共有部分は、日曜を除いて毎日清掃が入ります。  
 ※トラブルを避けるため、必ず学生が部屋にいる状態でサービスが入ります。

## 6-2. 洗濯（ランドリーサービス）

外部業者によるサービスです。週に三回（火曜・木曜・土曜）に業者が校内所定の場所で待機します。洗濯物を提出すれば、翌サービス日に返却が行われます。  
 ※残念ながら、日本と比較して洗濯の質は劣ります。高価な衣服や色移りが心配なものは、個人の責任でサービス利用を判断してください。下着等、気になるものは手洗いすることをおすすめします。  
 ※万一紛失した場合、学校では責任を負い兼ねますので予めご了承ください。

## 6-3. 街への交通手段

街への移動は、基本的に「ジブニー（相乗りバス）」「コールタクシー（呼びつけタクシー）」のいずれかです。ジブニーの場合は日本円で30-40円、コールタクシーの場合は日本円で700-800円がかかります。  
 ※休日には学校と街の間でのジブニーのシャトルサービスを提供しています。

## 6-4. 校内クリニック・近隣の病院

ロンロン校には、校内クリニックがあります。体調が悪くなった時は、自由に利用が可能です。 ※平日の日中は看護師が校内で駐在しています。  
 （バギオには多くの病院があります。学校で処置ができない場合、病院で医師の診療にかかることもできます）



## 7-1. 転校制度

隔週の入学指定日にて、ヘルプ英語学校のクラークキャンパスに移動することができます。就学途中で環境を変えることができます。転校を希望する場合、転校先でのプログラムが始まる2週間までにオフィスで申請をしてください。（ご不明な点は、現地スタッフへお尋ねください）

- ※施設・システム・風紀等、十分に確認をした上で転向の申請をしてください
- ※夏休み・冬休みシーズンは空席の関係でご案内できないことがあります
- ※転校先のキャンパスで4週以上の滞在予定がある場合のみ
- ※転校は片道です。元のキャンパスに戻ることはできません
- ※転校に伴い研修費用に差額が発生する場合、転校前にキャンパスにて差額の支払いの必要があります



### クラーク校

初級中級者向けのキャンパスです。



## 7-2. 週末の過ごし方

バギオはフィリピンでも有数の学園都市です。治安の良さには定評があり、街は若い人で賑わっています。市内には素敵なレストランやお洒落なカフェ、マッサージやショッピングだけでなく、展望台や植物園などの観光名所も数多くあります。(MINES VIEW PARK、Botanical Garden、Camp John Hay 等)

Brunham Park



SM Mall



Baguio Cathedral



Mines View



The Mansion House



PMA



Botanical Garden



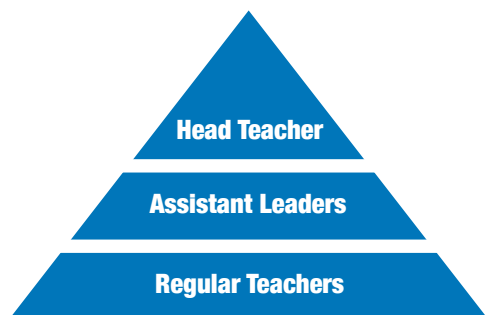
Wright park



### 7-3. ロンロン校の講師

年齢層 : 20代前半 10%、20代後半 35%、30代前半 25%、30代後半 10%、40代以上 20%  
 性別 : 女性講師 75%、男性講師 25%  
 勤続 : 1-2年 10%、3-4年 30%、5-6年 20%、7-8年 30%、9年以上 10% ※ 90%が勤続3年以上

ヘルプ・ロンロン校の講師は、以下のマネジメント体制でプログラムを提供しています。



#### Head Teacher (ヘッドティーチャー)

講師陣のトップです。学生数に応じて、1-2名の講師が任命されます。学生のスケジュール管理及び講師のトレーニングを担当します。

#### Assistant Leader (アシスタントリーダー)

ヘッドティーチャーのサポート役。通常3-4名です。コースごとに担当が異なり、ヘッドティーチャーと同様、スケジュール管理及びトレーニングを担当。

#### Regular Teacher (レギュラーティーチャー)

学生へ教える講師です。クラスに問題が生じた場合、直属のアシスタントリーダーに相談して、問題解決を行います。定期的にトレーニングあり



(ヘッドティーチャー フローレンス先生)

#### Head Teacher - Florence

(講師からのメッセージ)

“Teaching has always been a part of my life and it is one of the most rewarding experiences to see my students soar high in the pedestal of success. In the world of teaching, a teacher must see the students at the center, recognizing and developing all facets of learning for them to become competent and confident individuals in our society.”



(アシスタントリーダー ユニス先生)

#### Assistant Leader - Eunice

(講師からのメッセージ)

“Teaching has always been a part of my life and it is one of the most rewarding experiences to see my students soar high in the pedestal of success. In the world of teaching, a teacher must see the students at the center, recognizing and developing all facets of learning for them to become competent and confident individuals in our society.”



## 【参考】現地価格の一覧 ※1ペソ=2.1円で計算（2018年現在）

外国人が行くようなカフェ	: 100~150ペソ（210~315円）	※ドリンク一杯当たり
外国人が行くようなレストラン	: 300~500ペソ（630~1,050円）	※一品当たり
マッサージ（1時間）	: 300~400ペソ（630~840円）	
映画	: 180ペソ（380円）	
ドライバー	: 300ペソ~500ペソ（630~1,050円）	
スマートフォン	: 3,000ペソ~（6,300円~）	
フィリピン国内専用の携帯電話	: 500ペソ~800ペソ（1,050~1,680円）	
ペットボトル飲料	: 20~40ペソ（40~80円）	
カップラーメン	: 40~60ペソ（80~130円）	
タバコ	: 50~70ペソ（110~150円）	
ビール	: 30~50ペソ（60~110円）	※350ml缶当たり
ノート・ボールペン	: 10~30ペソ（20~60円）	
通話料・通信料	: 300~400ペソ程度（630~840円）	

## 【補足】よりよい留学スタートをきるために

留学初期の頃は「自己紹介」を頻繁に行います。渡航前に「自己紹介を紙にまとめ、練習をしておくこと」を強くお勧めします。また、自己紹介から想定される質問の返しについても、可能な限りで考えておくことで現地での良いスタートを切ることができます。授業でよく使う表現は事前に考えておくことをお勧めします。

（例。「Could you speak more slowly?」「Could you explain it again?」「I want to know more about XXX」「Could you please write it down?」等）

## 【補足】学校からのお願い

以下はフィリピン人の代表的な特徴です。国民性への理解が欠けると予期せぬトラブルに巻き込まれる可能性が非常に高くなります。フィリピン留学をする前、各項目についてチェックをお願いします。 ※必ずしも以下が全てではありません。

### 自尊心が高い（プライドが高い）

フィリピンでは「褒めて伸ばす」教育への傾向があるため、叱責されることに耐性がありません。また、家族・兄弟・同僚等の他者との結びつきが日本社会のものより強いので、人前で叱責されることを特に苦手とします。（人前でからかわれることに関しても同様です。感性が大きく異なるため、ジョークで済む話が思わぬ誤解となることがあります）講師を含め、フィリピン人スタッフに物言いをするときは、内容だけではなく場にも注意してください。難しいことがあれば、まずはステューデントアシスタントにご相談ください。

### 衛生・ニオイに敏感

意外かもしれませんが、フィリピン人は日本人と同じように清潔感を大切にします。特に「衛生・ニオイ」に関しては厳しいため、注意が必要です。フィリピンでは気候をはじめ、水や食べるものが異なります。学校生活では生活習慣も日本とは変わる人が多いので、（日本社会では当たり前の）日本人独特のニオイを出してしまうことがあります。国が異なることから、耐性のないニオイもあります。朝晩シャワーを浴びる、歯をしっかりと磨く等の配慮をすればこのような状況を避けることができますので、日頃から配慮を忘れないようにしてください。

※特にマンツーマン教室のような狭い密室空間では目立ってしまいます。お互いに悪気があってのことではありませんので、講師やスタッフから指導が入っても深く受け止めないでください。

### お金（所得格差）

日本とフィリピンの間には大きな所得格差があります。フィリピンの給与水準では、学校で働く講師たちは高い部類に属しますが、それでも日本社会の平均的な所得平均とは数倍の開きがあります。金銭の贈与および貸し借りは含め、お金に関わる話題も可能な限り避けるようにしてください。信頼関係を崩さないためにも、お金に関わるやりとりには最新の注意を払ってください。

※最悪返ってこなくても良い、という感覚でもお金を貸すことは絶対やめてください。これから渡航する学生へ迷惑がかかる可能性があります。

### 明るい性格

フィリピン人の気質で一番ポピュラーなのは「性格の明るさ」です。陽気で笑いに溢れる国民性のため、人に対して非常にポジティブに向き合います。良いことではありますが、裏を返せば物事に対して楽観的な面もあります。講師と仲良くなることは大いにしていきたいですが、身の安全や社会的なルールへについては、フィリピン人に流されず、自身でもしっかりと考えを持つようにしてください。

### 時間にルーズ

暑い国ではよくある「時間に対してルーズ」な気質はフィリピンでもあります。全てではありませんが、全体的に時間におおらかな人が多いです。待ち合わせや約束があっても、時間に対しては大きな期待をしないようにしましょう。但し、学校では別です。講師が授業に遅刻するようであれば、すぐに最寄りのスタッフへ伝えてください。